

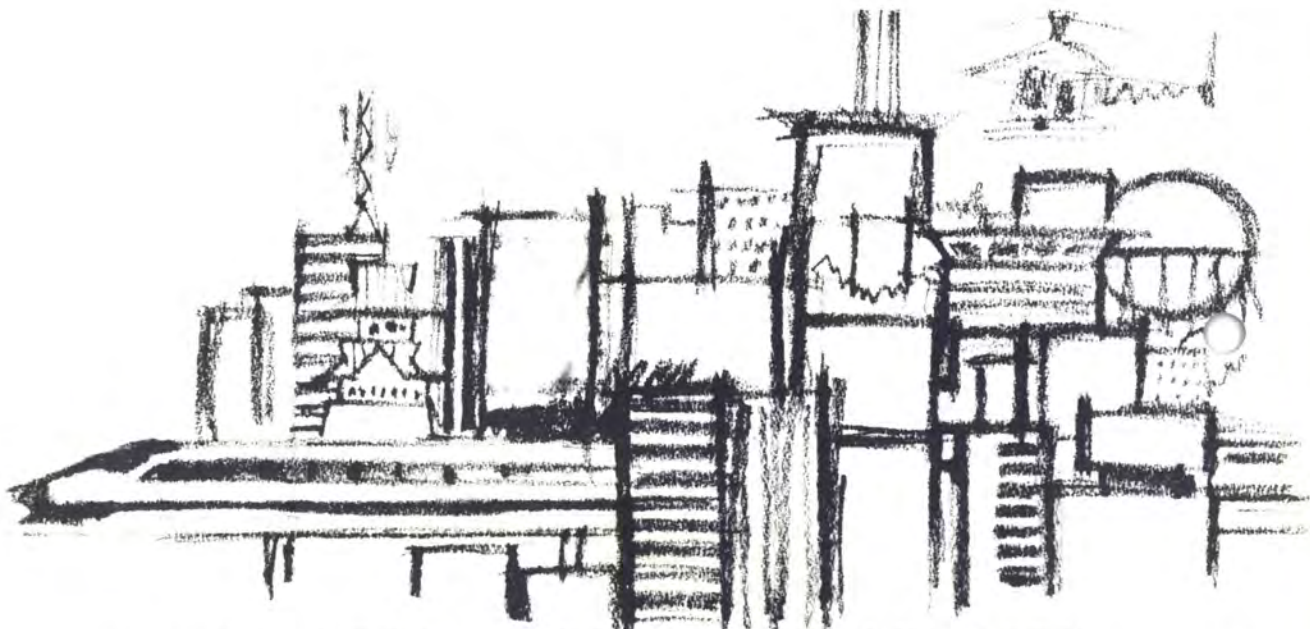
# みんなの県政

1972/1  
NO.37 富山





# 拡大する日帰り圏



## 「北回り新幹線開通」

「この日、北陸地方は、快晴。」

祝賀列車の発車式は、新装なった、地上二階、地下一階の新富山駅、上り三番ホームで午前九時盛大に行なわれた。ホームでは銀色と白のツートンカラーに装った、超音速機を思わせる「ひかりS号」は、スマートさを誇りながら発車を待ちわびている。晴れの運転士と車掌に、この日のために県内から厳選された「ミス北回り新幹線」嬢から、花束の贈呈があり、続いて、富山県知事・鉄道建設公団総裁・北回り新幹線管理局長が紅白のテープにハサミを入れ、出発を祝った。

軽快な警笛と、祝いの歓呼に送られるが、列車は新富山駅を後にした。超特急「ひかりS号」の門出を祝い、小旗を打ちふる住民の姿が後方に飛び去る車窓の光景は、夢のようだ。左に雄姿立山連峰を、右にはるか日本海を写しながら、一気に世界最長といわれる四〇数キロメートルのアルプストンネルにすいこまれる。およそ一〇分、立山の真下を走った列車は、すでに信州高原の山波に敷設された鉄道を滑走している。富山を出て約三〇分、長野駅に到着した。急行「白山」で四時間間近くを要した、志賀高原の玄関口、善光寺参りの長野までが、わずか三〇分行動圏となったのだ。列車はさらに東へ、関東平野を時速二五〇キロで走りぬけ、群馬・埼玉を経て地下の新上野駅一〇番ホームにすべりこんでいく。この間、わずか一時間三〇分で首都東京に到着。信じられないようだが、時計はたしかに一〇時三〇分をさしているのだ。

週休二日制となり、広域レジャー基地としてその名を高めた一大観光ルート、また、経

済の発展、地域開発の大動脈として、いま力強く誕生したのである。さらに、施設面ではトンネル七〇数カ所（二四五キロ、うち東京と大阪の地下鉄三〇キロ）、橋りょう百カ所（約一五キロ）、高架橋三五カ所（約一八〇キロ）、スノー・セツト四〇カ所（約一八五キロ）、総延長五八〇キロ全線をスラブ軌道（じやり・マクラ木を使わず、レールをコンクリート路床にじかに取り付けた軌道）としており、雪にも強く、安全性においても、先に開通した東海道はもちろん、山陽・東北・上越をはるかにしのぐ。この列車のために開発された新装置をはじめ、多くの新技術を生かしたニュータイプの新幹線として、お目見得したのである。建設計画当時に予想されたあらゆる困難な問題は、六八〇〇億円の費用と八年の歳月は要したが、最新の技術を誇る鉄道建設公団の工事関係者の手で見事に克服されたのである。かくして東京へは一時間三〇分（特急で六時間）、大阪へは二時間（特急で四時間二〇分）、名古屋へは二時間（特急で四時間）と、日本の中枢機能を有する三大圏域が、いま完全に日帰り圏となったのである。

さらに、日帰り圏を三時間行動圏とするならば、東北地方では仙台市まで、東海道は全都市、西の方では岡山市あたりまでが、これに入るようになったのである。そして、金沢（一〇分）・福井（三〇分）・長野（三〇分）は、気軽に往き帰りができる範囲になるわけである。

これが、昭和五五年にかける、百万富山県民の夢。すでに今から一年前に開催された鉄



・1月に咲く花  
プリムラ・ボリアンサ  
（サクラソウ科）



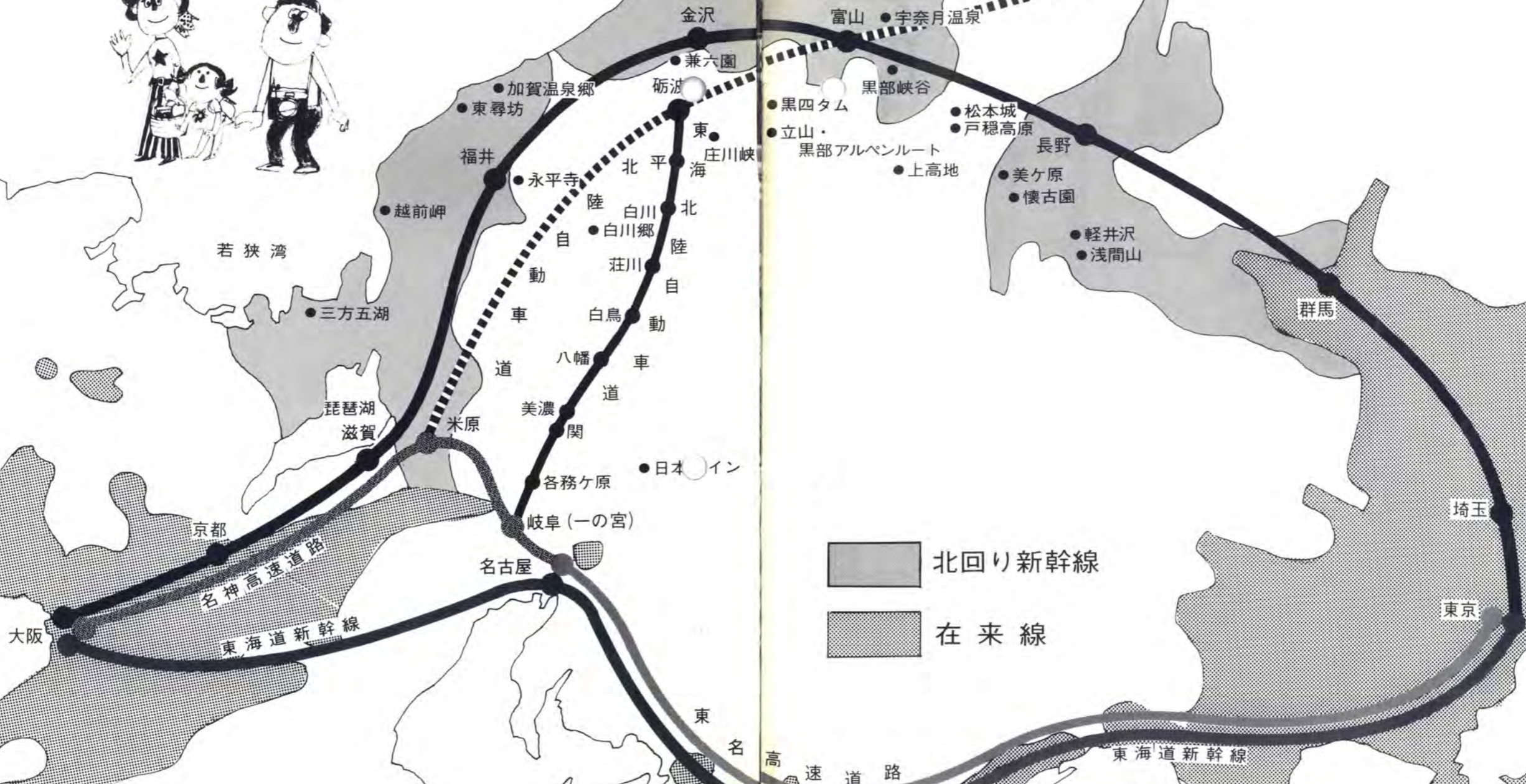
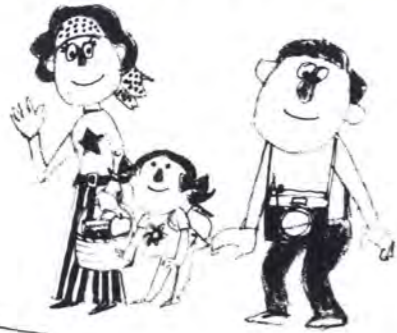
### 〈表紙説明〉 富山の土人形

富山の土人形（デクサマ）は、十代藩主前田利保のお庭焼の副産物としてできた。正月、県内各地で天神様が飾られる風習は藩主の祖先が菅原氏ということから土着化したものようである。稚拙なうちにも進歩的なところが愛され、天神さまをはじめ、ダルマ・アネサマ・動物など、いろいろつくられている。昔は数軒あった土人形屋も現在、富山市四ツ葉町に住む渡辺信秀さんだけが伝統を守りつづけている。



北回り新幹線・北陸自動車道  
東海北陸自動車道が実現すると

# 東京・大阪の日帰り圏が こんなに拡大します



道建設審議会において、建議という形で、北回り新幹線を基本計画へ組入れて必要な措置をとるよう、政府に対し答申があり、実現への第一歩を踏み出しています。しかし、今すぐ基本計画が決定しても、その後の整備計画や工事着工への道は、まだ遠いのです。また用地問題など、のりこえなければならぬ多くの問題をかかえており、全県民の総力を結集した関係方面への働きかけが必要です。みなさま方のご協力をお願いいたします。



# 北回り新幹線開通の夢から 一日行動圏への具体的方向

## 「高速自動車道」

行動圏を拡大するもう一つのみちは、高速自動車道の建設です。最近の自動車の普及が目を見はるものがあり、しだいに自動車交通が陸上輸送の王者となりつつあります。この自動車時代に対応して、脚光をあびて登場したのが高速自動車道その普及は地域開発の原動力となり、通過する沿線地域に大きな発展の可能性をもたらしています。

富山県内では、将来二線の高速道がはしることになっています。その一つは、東西を結ぶもので、昭和五〇年開通を目標とした北陸自動車道。他の一つは南北を結ぶ、昭和五五年完成予定の東海北陸自動車道です。これらの自動車道が開通すれば、目的地に早く行くことができるだけでなく、物の生産や輸送が計画的になり、農水産物は鮮度をおとさずに大消費地へ運ぶことができるようになるわけです。その他、市外地に住宅を造ったり、県外からたくさんのお客を呼ぶこともできます。その上、渋滞が続いている一般道も緩和されるといった、数多くの効果が期待できるわけです。

## ■北陸自動車道

さて、北陸自動車道は、新潟市を起点とし

て、富山・金沢・福井を経て、米原に至る、総延長約五〇〇キロメートル、全区間四車線で、中央分離帯を含めると巾二五メートルの高速道です。

施設としては、インターチェンジ（一般道から高速道へ出入りできる）が県内では九カ所予定されており、バスストップ（高速バスの停車場）・サービスエリア（運転者や乗客の休憩所）、ガソリンスタンドや簡易修理場など）・レストエリア（運転者などの休憩所や売店）などが、適当な場所に設けられて、快適な利用ができることになっています。

昭和四〇年に基本計画が決定されてから、着々と具体化しており、県内では小杉・砺波間の工事が順調に進んでいます。風雪にもめげず工事に励む作業員の姿を、ご覧になった方もあると思いますが、全線開通までは、なお相当の日時を必要とするでしょう。平野部で時速一〇〇キロ、山間部で時速八〇キロ、平均時速八三キロで走れば、金沢へは四〇分・大阪へは四時間三〇分・東京は五時間で行けることとなり、現在の所要時間の約半分での目的地に着くことができるわけです。

## ■東海北陸自動車道

太平洋ベルト地帯と日本海を、取短距離で

本県の主な大気汚染物質としては、火力発電所や各工場から排出されるイオウ酸化物（亜硫酸ガス）・浮遊粉じん（自重では沈降しない粉じん）・合金鉄製造工場などの電気炉から排出されるばいじん・化学工場などからの有害物質（チソク酸化物・フソク化合物）があげられます。

もちろん、これらは、大気汚染防止法や公害防止法などの規制を受け、大気汚染観測所などによって汚染状況を測定・監視されています。

この汚染状況の測定データーに即時性や一段と進んだ活用性をもたらしたのが、テレメーターシステムです。

テレメーターシステムというのは、中央指令室からの無線（または有線）操作で、大気汚染観測所に汚染度を自動計測させ、そのデーターを定期的あるいは任意の時に入手できるようにした方法です。

本県では、このシステムを昭和四十六年五

月、他県に先んじて導入し、昭和四十二年から活動している富山・高岡・新湊三市の大気汚染観測所七カ所のうち、重要度の高い五カ所をテレメーター化しました。

現在、県庁内にある中央指令室で、この三市の大気汚染観測所から送信されてくるイオウ酸化物・浮遊粉じんの濃度と風向風速の測定値を受信し、集中監視しています。

さらに、大気が極度に汚染され、基準をこえたときの緊急の場合などには、テレビ・ラジオによって一般家庭へ通報し、各工場（現在、協力工場は二六工場）へイオウ酸化物などの排出を減少するよう勧告するなど、このテレメーターシステムの即時性が大きな効果を約束してくれることになりました。

このように、大気汚染の悪化・広域化に対して、正確かつ迅速な公害防止対策を実施するために、テレメーター化は欠くべからざるものであり、今後偉大な力を発揮するに違いありません。

結びきわめて大きな意義をもっています。岐阜県一の宮で名神高速道に、富山県砺波市で北陸自動車道に連絡する、総延長一七〇キロに及ぶ高速自動車道です。

平地で幅員二五メートル、山地で二三メートル、平地での時速一〇〇キロ、山地では時速八〇キロ、山岳部では六〇キロで走れるよう設計される予定です。日本の屋根といわれる中部山岳地帯を走りぬけ、名古屋まで三時間という、この道路の一日も早い完成が待たれます。

## ■富山新空港

最後に、高速化の花形、航空機交通が残っています。現在の富山空港は、河川敷を利用しているため、濃霧・増水などのときに機能を十分に発揮できません。また、大型化する航空機に対処するためにも、新しい空港の建設が必要となります。県では、昭和五〇年開港を目標に、いろいろ準備を進めているところであり、新空港からジェット機が飛び立つ日も夢ではなくなりましょう。

明るいあすを築くため、県はこれらの建設促進に努力していますが、この大事業は県民一人一人の協力がなければできないことです。今年も「価値ある県民生活」をめざして努力し、自分のものとしていきましょ。



# 大気汚染観測に テレメーターシステム導入





# 青少年と環境

■青少年をとりまく環境の浄化をはかりましょう

青少年が心身ともに健全に育っていくためには、家庭・学校・職場を含む社会全体がよい環境であることが必要条件です。人格は、天性と本人をとりまく環境によって形成されるものであり、心身が未成熟な青少年は、環境による影響が大きいといわれています。

近年のめざましい経済成長は、物の豊かさをもたらした反面、心の豊かさを奪い去ろうとしています。このことが家庭生活、ひいては青少年をとりまく社会環境にも大きな変化をひきおこし、いろいろな問題を投げかけているわけです。これらの問題点を、次の三つの観点から考えてみましょう。

## ① 青少年と家庭環境

最近、急激な社会構造の変化にともなう家庭生活もまた大きく変ぼうし、家庭における青少年の養育について多くの教育的問題が生じています。すなわち、家族構成においては、子どもの数が少なくなっただけでなく、核家族化への傾向がいちじるしく、しかも産業構造の変化にともなう、家庭は生産より消費の場へと変化しました。そのうえ、家庭電器製品や各種機器の普及は、家事労働を軽減し、産業界の要請とあいまって、主婦が職業につく機会を多くしました。その結果、留守家庭や放任家庭が増加し、家庭はいままでもっていた教育機能を失いつつあります。

また、今日の家庭にはテレビが大きく入りこんでおり、青少年の直接的経験を奪うだけでなく、青少年の意識と家庭生活に大きな影響を与えています。種々の調査によれば、青少年は家庭生活に一応満足はしているものの、父母との心の通い合いや、話し合いにおいてなお満たされないものを感じているようです。

急激な社会構造の変化の中にあっても、親子の関係は、常に人間的な愛情によって結ばれるべきであり、そここそ青少年の健全育成の基盤があるといえるべきでしょう。

## ② 青少年をめぐる社会環境

青少年をとりまく環境のうち、最近とくに問題になっているものに、社会環境と一部マスコミがあります。経済成長の高度化による所得水準の向上や、余暇の増大および消費ブーム、娯楽施設の増加など、社会的な変化が青少年の娯楽面にも大きな変化をおよぼしています。

たとえば、深夜外出、盛り場はいかないなどの現象を招き、やがては飲酒喫煙・不健全娯楽・不良交友など、ぐ犯・不良行為への契機となりやすいということになります。また、映画・雑誌・テレビなどマスコミの発達も、青少年がこれと接触する機会も多いということで、一部に見られる暴力的場面や露骨な性的描写などの不健全なものは、好ましくない影響を与え、問題行動に走らせる一つの誘因をなしていることも、否定できない事実です。

こうした有害な社会環境や、一部マスコミの弊害から青少年を守るために、社会環境の浄化を重点として、関係業界に自主規制の協力を呼びかけるとともに、県民の社会的良識と青少年健全育成への積極的な理解と協力によって、明るい環境づくりにつとめることが大切です。

## ③ 青少年の非行問題

情報のはんらんは、もの見方、考え方がきわめて未熟な青少年の心の中に、欲望だけ

を大きく育てていきます。庁がこのほどまとめた「一九七〇年における少年の補導と保護の概況」によると、

青少年の犯罪は六年ぶりに増加し、低年齢化、集団化が目立ち、窃盗や粗暴犯がふえています。とくに十四才から十七才までの各年齢層の犯行が増加しています。これは中学生、高校生の年代に当たります。このように青少年の大部分を占める児童、

生徒の非行については、従来とも家庭・学校関係諸機関が協力して、その防止につとめてきました。今後は、非行の防止はもとより、心豊かでたくましい青少年の育成をめざして「県民総ぐるみ」の活動を展開したいものです。





# おいしい米を

## ・富山県産米の懇談会から

米の消費の拡大をはかるため、昭和四十四年に自主流通米制度が発足して以来、全国の生産県は大消費地にむけて、優良銘柄米の売り込みを活発に行なうようになり、富山米のPRも県として、根気よく継続的に富山米のPRと販路拡張につとめてきました。

今年も十一月十五日から五日間にわたって富山県・富山県産米改良協会・富山県経済農業協同組合連合会の主催で、京都府・兵庫県・大阪府・愛知県・東京都・神奈川県の大都市に関係者が向かい、産地の事情を説明し、また、消費地の関係者からなまの声を聞き、富山県産米の位置づけを有利にするための懇談会を開催しました。

どの消費地でも、今後の富山米に期待を寄せていますが、そのときの模様を紹介してみます。



## ・富山米の県外出荷量

米の生産調整が行なわれていないときの、富山県の米総生産量は三〇万トン前後でした。このうち、農家保有米七万トン、県内消費量六万トン、計一三万トンを差引いた一七万トン程度が、毎年県外の大消費地へ出荷されてきました。

昔から、本県産米は「水島」「銀坊主」の代表品種で全国的に知られ、米不足時代には早場米のため、はざかい期のつなぎ米として大消費地で重要な役割を果たしてきました。自主流通米についても、早場米の宮崎・鹿児島米にそろう飽きてくる消費者に大きな味覚を与えております。

本県産米は主として関西地方の経済圏に入っていた関係上、関東ではなじみがうすかったのですが、関係者の努力と富山米に縁故のある米屋さんの協力により、関東地方でも着実に伸びてきました。

昭和四十四年産の自主流通米は、十一都道府県に販売され、その取引量はうるち米五、六一九トン、もち米五、八一九トン、酒造米三、六三七トン、合計一五、〇七三トンでしたが、昭和四十六年産米は二〇都道府県に及び、その量も六〇、七六〇トンと着実に伸びています。

## ・富山米の期待と評価

四十六年産米のうち富山米は、北陸三県で最も評判がよく、北陸の米なら富山米という印象がもたれるほどになりました。

全体として、富山米は良くなっており、これは優良銘柄米に品質が統一され、同一品種で量的にまとまってきたのが原因です。しかし、早生が主力で、もっと年間取扱いができる中晩生種を考へるべきでないかという意見が多く、今後「コシヒカリ」「日本晴」に期待をかけています。(第一表参照)

## ●消費地の苦情や要望

**1. 品種**  
「ホウネンワセ」は、消費地で多く出回って競合がはげしく、もっと「越路早生」「コシヒカリ」「日本晴」の三品種をのばしてもいい。(第二表参照)

**2. 品質**  
全体的によいが、一部に腹白、乳白粒、ヤケ米などが目立つとともに、黒粒(カメムシ)の被害粒が昨年に比べて多く、精白しても黒点とれぬものがあった。

**3. 乾燥調整**  
過乾燥米は、昨年に比べて半分程度に減少しているが、北陸の米は全般的に光沢がない。そのためには、急激な乾燥は避け、軟質米の特色を失わないようにしてほしい。

また、調整にあたって、さらに粒揃いをよくするようにすべきである。

**4. 異物の混入**  
砕石「小石」の混入が本年産米に多かった。このような米は商品として価値がないので注意してほしい。

## ●今後の改善策

**1. 品種**  
年間取り扱い品種の生産をのばすため、他の良質銘柄品種のほかに、今年から消費地が大きな期待をかけている良質美味の中生品種「コシヒカリ」が奨励品種に加わりました。

「コシヒカリ」は倒伏しやすいので、平坦地の砂質乾田と排水の良い壤土乾田の適地に作付を限定し、施肥、イモチ病防除、水管理など周到な肥培管理が必要です。

**2. 品質**  
腹白・乳白粒などの未熟粒については、気象条件、品種などを総合的にみて、今後の栽培技術上の問題点として解明につとめる必要があります。

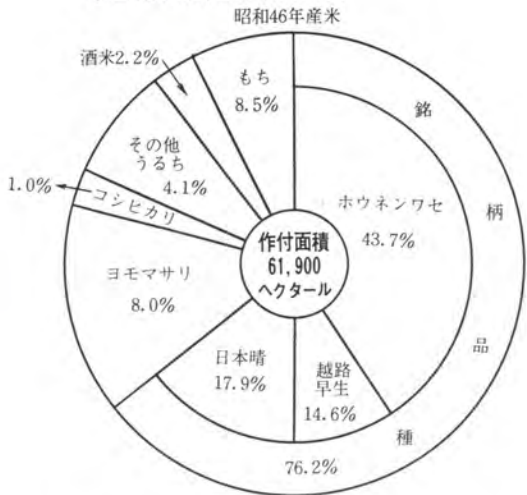
**3. 乾燥の適正化**  
自然乾燥は、米の味を失わない一番よい方法ですが、作業の省力化のため、人工乾燥の増加はやむをえない方向です。

機械乾燥にあたっては能率にこだわらず、多少の時間がかかっても、高温にならない適当な温度で乾燥し、玄米の品質保持につとめることが大切であります。

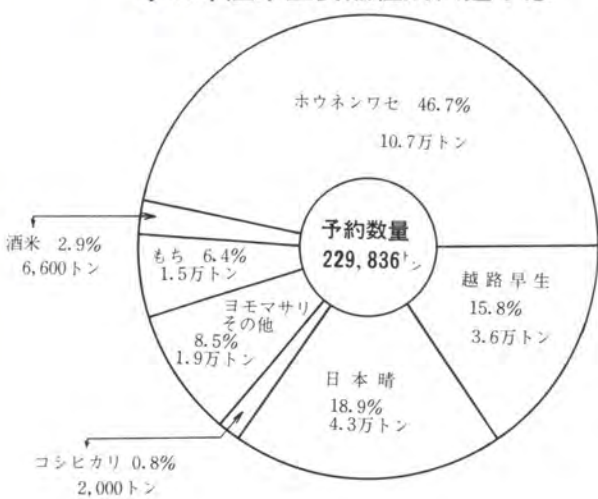
**4. 異物の混入**  
刈取・脱穀の機械化が進む反面、粗雑な作業で小石が混入しやすくなりますので、作業はいいに行なうとともに、共同乾燥施設の場合には「石抜機」を設置して、小石除去を徹底すべきであります。

**5. 病害虫の被害**  
黒粒(カメムシ)の種類・発生時期・被害状態・発生地域などについては、今年の調査でほぼ判明しましたので、昭和四十七年度は徹底的に防除をしなければなりません。

第1表  
◆主要品種作付割合



第2表  
◆46年産米主要品種別出廻予想





# 郷土の顔

山中、小姓に生を享けた私は三才の  
 童児のころより一歩外へ出ると、まず  
 立山連峰の澄みきった美しい山容の  
 偉大なる玄妙神秘に浸り、首つて  
 来たことが、どうやらいつか、今  
 画人と来たように信じており  
 ります

郷倉千毅

立山。森羅万象が雪で静まりかえり、寂と  
 した中に、青空と白い稜線がキッパリと一線  
 を画している。威容、無言の語りかけが信仰  
 の対象になり、芸術へと昇華させる。私たち  
 は、立山連峰の姿がみえないと、遠来の客に  
 対してすまない気にさえなる。



郷倉千毅の略歴

明治二十五年、小杉町の生れ。本名与作。  
 県立高岡工芸から東京美術学校を卒業。早くから  
 日本美術院に参加、評議員・監事として重きをな  
 している。  
 近代的な色感を示す華麗な画風は、装飾画や壁  
 画に優れた作品を残している。なかでも昭和三十  
 八年東本願寺「釈尊父王に会いたまう図」、昭和  
 四十四年の四天王寺「仏教東漸」の両壁画は、華  
 世の大作。この下描きの一部が、富山市立図書館  
 にかかけられている。





# 視聴覚教育のすすめ

世の中が進歩し、ますます複雑になるに従って、社会教育の分野の重要度が増しています。少しでも多くの内容を提供できるだけ早く多くの人に提供する必要があります。これに必ずや視聴覚教育です。

新しい機械の扱い方や放送について、いつでも相談に応じられています。

各市町村にも同様の視聴覚ライブラリーがあり、小中学校の教材を中心に保有しています。

## ●近着十六ミリ映画フィルム

- クラブ活動とたくましい老人たち
- 白黒三分(老人向)
- 魔女のバレーボール
- カラー二〇分(青年向)
- テントの張り方
- カラー一六分(青年向)
- ぼくの犬キング
- カラー四四分(少年向)



その中味も、今までの映画によるものはもちろん、スライド・録音テープ・ビデオテープ・レコーダーなど、各種の機械や材料が使われるようになってきています。私たちの暮らしの中にテレビがはいりこんで、生活の一部になっていくことを考えますと、このよう

な視覚と聴覚に訴えて情報を提供するということは、教養を身につけるのに有効・適切な手段であるといえましょう。

映画やテレビに代表される視聴覚による教育の方法を、わが子の教育に、また自らの教養のために最大限に活用することこそ、現代文明社会に生きるわれわれの生活の知恵でなければならぬと思います。

- 職業への道
- カラー三七分(青少年向)
- 津軽の子ら
- カラー三九分(少年向)
- 後継者
- カラー三〇分(成人向)
- 三代の嫁たち
- 白黒三〇分(婦人成人向)

電話・富山(三三)六四二〇

## 社会体育振興の具体策

### ●スポーツ指導員の養成はじまる

社会体育振興の要素は、施設・指導者・組織づくりです。今年からはじまったスポーツ指導員の養成は、「一億総スポーツ」に呼応する具体的な歩みの一つです。

スポーツ指導員は、地域住民のスポーツ欲求にこたえるために、施設を中心としたスポーツグループづくりや、自発的グループの指導員、スポーツ教室・スポーツ相談の実際的指導を行なうことを目的として、十年間に全国で約十万人を養成しようとするものなのです。具体的には、一つの中学校区に最低十人のスポーツ指導員を置いて、一人が一種目を担当することとし、その中学校下には十種目のスポーツ活動が展開されることになるわけです。

もちろん、これらのスポーツ指導員は、ボランティアの指導者ですから、いつ、どこでもというわけにはいきませんし、すべて奉仕活動というわけにもいきませんので、それに見合う報酬は、やがて制定される資格基準にしたがって、指導を依頼した人たちが負担(受益者負担)することになります。今後の社会体育振興、自らの健康体力の向上のためには、応分の負担は当然であるとの考え方が必要となってくるでしょう。

このスポーツ指導員は、県体育協会が主催する六日間の講習会(講義三日・実技三日)に参加し、その資格を認定されて活動することになります。

これから、とかく屋内にとじこもりがちになります。学校の体育施設の開校とあわせて、体育指導員とともに体力づくりにはげみたいものです。

## の政の とき

11月11日→12月10日

する方向で検討することになった。  
十一月十五日「交響詩立山」完成  
県が三千万円をかけて、映画監督松山善三氏と作曲家斎藤敏郎氏に制作を依頼していた「交響詩立山」の映画・交響楽が完成。県民会館で発表された。  
十一月十七日 地鉄三線、廃止を申請  
富山地方鉄道は、名古屋陸運局を通じ、運輸大臣に、来年三月三十一日までに笹津線・射水線の全線廃止の許可を申請。また、富山市内軌道の一部廃止についても知事を通じて運輸・建設大臣に廃止許可申請をした。  
十一月二十一日 中田知事帰国  
日米知事会議に出席し、そのほか南米諸国を訪問していた中田知事は、一カ月ぶりで帰国した。

十一月二十四日 公害測定車はいる  
大気汚染などの公害調査に機動性をもたせるための、公害測定車が到着。塩谷公害部長がテープカットを行なった。  
この測定車は、大気汚染の常時監視所と併行して利用していくほか、突発事故の調査、自動車排気ガスによる汚染状況の調査に活用する。  
十一月二十七日 中部スーパー農道着工

富山中部地区広域営農団地農道の整備事業の起工式が、第一生命ホールで中田知事ほか関係者を集めて行なわれた。  
この農道は、滑川・上市・立山・富山・婦中の五市町村を結ぶもので、延長四一・六キロ、地域農業振興の目的を果すほか、国道八号線のバイパス的意義も大きい。昭和五十二年度に完成の見込み。  
十一月二十九日 県交通安全県民会議  
第八回富山県交通安全県民会議は、明治生命ホールで開かれ、各機関の代表から広域救急医療体制の確立、子どもたちのための自転車道など、交通安全のための新しい提案や、ユニークなアイデアが出され、活発な意見がかわされた。  
十二月一日 特別デー六日間を設定  
十一月中、ストップ207作戦を展開して交通事故による死者絶滅を期し、一応の成果をあげた県警では、十二月もこの作戦を継続することを決め、重点事項や特別デーを次のように決定した。  
五日一時停止監視日、十日自転車安全日、十五日ノーカーデー、十七日無謀運転追放の日、二十日交通三悪追放の日、二十四日飲酒運転絶滅の日

十二月四日 国連・県本部の二十周年  
日本国連協会富山県本部の二十周年記念式典は、富山市の電気ビルホールで行なわれ、関係者約七〇〇人が出席。国歌斉唱のあと、本部長の中田知事は国連の重要性と協力を内容にあいさつした。引き続き「転換期を迎えた国連と日本」と題して、愛知前外務大臣が記念講演を行なった。  
十二月六日 婦人県政公聴会  
婦人県政公聴会は、滑川市民ホールで約四〇〇人集まって開かれ、婦人の立場から県の方針、対策などの質疑がかわされた。  
十二月八日 十二月定例県議会ひらく  
八日午後一時十分から本会議をひらく。会期を十四日までと決めたあと、中田知事が一般会計補正予算など、提出案件の提案理由を説明、九日は休会して十日から代表質問、一般質問が行なわれた。  
十二月九日 福岡で婦人県政公聴会  
六日滑川市民ホールにつき、福岡町福岡小学校で婦人県政公聴会が開かれた。  
道路改良をはじめ、婦人の船、過疎バス対策、老人福祉など、生活の中からにじみだした婦人の身近な諸問題について発言、要望が述べられた。



県農業祭ひらく



公害測定車はいる



県交通安全県民会議



婦人県政公聴会





# 「田植え正月」

漆間元三

(県史編さん室主査)

正月十五日を、田植え正月ともいう。田植えのまねをする行事で、中新川・砺波地方でも、ニワタウエをおこなう風習があった。土間を田圃にみたく、年神の前で、今年の秋のみのりはこのようであってほしいと、折り紙と希望とを形に表わすのである。古風を守る主人や年男は、自らクワをもって二ワにおり田打ちをすれば、モモヒキに素足の、田植え日の早乙女の装いをした女たちが、腰に下げた苗かごから、一五センチ位に切ったワラを、苗にみたくて二ワに植えながら田植え唄を歌

い、しばらくして「ミナクチをとめる」といって休む。この行事の終わったところで、ご馳走にあづかる風があった。要するに、いっさいの水田耕作の模擬を行なうわけである。田植え行事が終ると、こどもたちは、畑や田に出て、鳥追い唄をうたう。のしろのおばさん、鳥ぼうくたさいなんの鳥ぼうじや あさくるすずめ ひるくるからす ホワイホワイホワイ これは小矢の石動近在でいまもうたわれているが、かつては新年の祝う日に、追う



ておかぬと安心しておられぬほどの、鳥の害があったのだろう。またこの日、果樹を責めて、豊熟を約束させる「木責め」の行事もあった。こどもが二人で屋敷内の柿や桃の木の下で、一人がカマで木の皮に切り目をつけ、「なるかならんか ならん ならん ならんにや切るぞ」というと、他の一人が「痛い痛い、なるなる」という問答をして、切り目に小豆ガユをぬりつける。

宇奈月町下立では、祝箸といって、ぬるで

からであった。いまでは口祝いと称して、親類や近所の人を招いてご馳走するならわしのなかに、わずかに残っているにすぎない。これらの行事は稲作の実務に先だって、農作の成就を祝福祈願する方法で、農民の希望と理想があらわれていたことはいまでもない。年の始めには、誰れもが不吉なことで、縁起のよいことづくめでありたい。商業界でも年頭の初取り引きは、できるだけめでたくしようとしている。それは初荷風景にまざまざと現われている。人力をもってはもうならぬことにたいし、神の加護を期待する風習がいろいろの形で残されているわけである。

# 暮しの知恵

## 電気器具のアフターサービス

### ●修理はどこへたのむか

故障した電気器具の修理を頼むとき、次のような方法があります。

①器具を買った電気店へ依頼する  
店主と顔なじみになっておいて、修理をそこに依頼する方法。

②近くの電気店に依頼する

その器具のメーカーの特約店になっているところ、信用のある店を選ぶ。

③メーカーに直接連絡する

適当な電気店がないときは、各メーカー直営の修理機関に連絡すると、技術者が訪問して修理してくれる。メーカーによっては販売店と契約していて、そこから技術者を派遣してくれるところもある。

### ●修理料のしくみ

#### 部品代 + 技術料 + 出張料

この合計金額が修理費として請求されますが、電気店に持参すれば出張料はとられません。修理をするときは、あらかじめ修理料金の見積りを依頼すること。また、修理の途中などに見積り料金に変更のあった場合は、その理由について説明を受けること。

### ●保証期間がきめられている製品

値段の高い製品は保証期間が決まられています。この期間内の故障は無料で修理してくれます。ただし、使用者の不注意でこわれたものや、安売りのもので保証書のないものは無料になりません。

### 電気器具の保証期間

テレビ	1年
ステレオ	1ヶ
洗濯機	1ヶ
冷蔵庫	1ヶ
電気毛布	1ヶ
クーラー	1ヶ
冷蔵庫・クーラーの冷凍サイクル	3ヶ

### ●買い替え時期のめやす

どの電気器具にも寿命はあるわけですが、使い方によって実際の寿命はまちまちなのであらかじめ一定の寿命をきめることはむずかしく、電気用品取締法でも寿命の試験はしていません。しかし、一応の目安として通産省で「補修用部品最低保有期間」を決めています。これはメーカーがある型式の電気器具の生産を中止してから、その補修部品を最低何年間保有していなければならないかを決めたもので、強制力はありませんが、各メーカーとも自主的にこの約束を守っています。

この保有期間は、モデルチェンジにともなう旧型器具の社会的な寿命と、器具の実際の寿命との兼ね合いをみて、買い替え需要の年数を考えてまとめたものといえますから、寿命の一応の目安になるとともに、こわれた部品があるかどうか判断できます。

### (補修用部品最低保有期間)

- テレビ(白黒).....7年
- ラジオ.....5ヶ
- ステレオ.....7ヶ
- テープレコーダー.....5ヶ
- 洗濯機(脱水機のないもの).....5ヶ
- そうじ機.....5ヶ
- 扇風機.....7ヶ
- ポンプ.....7ヶ
- ミキサー・ジュサー.....5ヶ
- 冷蔵庫.....8ヶ
- ルームクーラー.....8ヶ
- 冷水器.....7ヶ
- トースター.....3ヶ
- 電気ポット.....3ヶ
- ロースター.....3ヶ
- 電気がま.....5ヶ
- 電気こんろ.....3ヶ
- アイロン.....3ヶ
- 電気こたつ.....5ヶ
- 電気あんか.....5ヶ
- 電気毛布.....5ヶ
- 電気ストーブ.....5ヶ
- 電気かみそり(乾電池式).....3ヶ
- タイムスイッチ.....3ヶ
- 電気時計.....3ヶ





# ご質問に お答えします



**問** 土地や家屋の明け渡しの問題、離婚の慰謝料の問題など、法律上の争いが生じた場合に、経済的な理由によって訴訟の費用を負担することができず、裁判によって権利の主張や救済を求めることができなない人を助ける制度があると聞いておりますが、お知らせください。

**答** 法律扶助制度といって、財団法人法律扶助協会が、国庫から補助金を受けて行なっています。

この法律の適用を受けられる人は、裁判を受ける資力に乏しく、正当な権利の主張者で勝訴の見込みがある場合で、協会が扶助をする必要があると認められた人です。法律扶助を受けたいときは、協会(全国の道府県に支部があります)や近くの人権擁護委員あるいは富山地方事務局、各支局に相談してください。

**問** 外国旅行をするときの手続きを教えてください。

**答** 仕事や観光などのため外国旅行をするときは、外務大臣が発給する旅券(パスポート)を所持しなければなりません。

旅券交付の申請手続きは、居住地の都道府県庁でできます。本人が直接に出向いて、所定の旅券発給申請書、戸籍謄(抄)本、写真、渡航費用の支払能力を立証する書類などを提出してください。

旅券は、申請後約二週間で交付されますが、渡航先国によっては、入国のための査証

(ビザ)を必要としますので、その場合は、在日外国公館から査証を受けなければなりません。

また、出発前に種痘などの予防接種をして国際的に定められた免疫証明書の交付を受けておく必要があります。

外国旅行の手続きは、渡航目的によっていろいろと違いますので、県庁総務課外事係にお問い合わせください。



# 点滴

## 「県内施設のPRを」



勤労青年の料理サークルから講師を依頼され、勤労青少年ホームに出入りする機会を得ました。まず感心したのは立派なこと。いたれりつくせりの設備があるし、実にうれしく思いました。

戦争のさなかに青春を送り、読書を制約され、消火訓練を強いられた私には、うらやましさを超えて、本当にうれしく思いました。

現在の青年とともに、この平和を感謝し、人間形成に一役買いたいと、私なりにこのサークルに力を注いでいます。

でも、全体的にみまして、利用者の少ないのはなぜかしらと、自分なりに考えてみました。ひとつには、年令の制限が二十五歳までとか、いろいろ他にも制約があります。今ひとつ、巾のひろいものが欲しいのです。またPRの乏しいことです。利用者だけを対象としたPRはもちろん大切ですが、一般家庭の方々に「こんないい施設がありますよ。あなたのお子さんどうぞいらつしやい」といった公開のPRも、おおいにやって欲しいものです。

県は、市町村に天下り式の指示でなく、国との縦、そして県内での横のつながりの中で青少年施設を青少年そのものの問題として取りくみ、真剣に啓蒙して欲しいものです。「仏作って魂入れず」の感のないように……。

勤労青少年ホームに限らず、県下のあらゆる施設を、もっと県民に知らせて欲しいもの

です。

私の知人に、知恵おくれの子を、家族の十字架として背負っている人、病む妻を抱え、身内がないため、幼な子とともに途方にくれている人などがいます。県民が県内の施設を知らないばかりに、個々で、あるいは一家族だけの問題として苦労している人々を周囲に見かけるのです。これらは、施設のPRを充分にされることによって、県民がその施設を知り、それぞれの立場から要望し、自分らの施設として愛し、手をさしのべるようになるでしょう。

私は勤労青少年ホームに出入りし、この乏しい図書を見て、わが家の本を少しなりとも持っていくたいと思うのです。そして肩のこらない少年雑誌やマンガを取り入れ、勤労青少年がホッと息抜きし、時には真摯に物を考える若者のホームづくりを、今一段と県政の力ぞえを望むものです。

富山市水橋石政 酒井市子

## 「楽しい社会造りに」



世変にとまどない、楽しい平和な住みよい社会であるべきなのに、昨今は殺人鬼の激増、銀行などを襲う強盗の横行、過激派学生の激増と、社会情勢は悪化するのみである。なんの遺恨もない人を虫けらのごとく殺して、平然としている者の増えつつあること、また巴れが働かずして金銭を得ようと、銀行などを襲って強奪する者の増加。なお、最高学府の

大学生にあつては、勉学研究に没頭すべき自己の自分をわきまえず、実社会に通用しない自己理屈を主張し、社会秩序を乱し、公共物の破壊・焼き捨てなど、最近にいたっては殺人まで犯し、第三者にまで危害を加える過激派学生の増加。このように世相が悪化しつつあることは、何が原因するのか。

敗戦によって、なんでも外国のことをとり入れようとした自由主義に大きな問題があるのではなからうか。

また、敗戦後の放漫な学校教育の欠陥にも起因しているのであろう。

先日、富山大学の学生が傷害罪を犯したことで、警察官がこれを逮捕するのに学校内に入ったことを、勉学研究の妨げであると、富山警察署に抗議に行った教官があつたが、このような教官がいる限り、中央教育審議会がいかに理想的な答申案を出しても、社会の平和秩序は望めないであろう。こんなことを許せば、不良学生を増長させるだけである。犯罪を犯す不良学生が学校内であれば、他学生の研究勉学の妨げになるのではなからうか。

大学は治外法権であるなどというなら、なぜ犯罪不良学生を出さずかと、詰問したい。学校内といえども、犯罪不良学生がおれば、当然、取り調べも逮捕も行なうべきである。大学といえども、治外法権など許すべきでない。

このようなことを黙認していた結果が、今日のような世相悪化の原因でもあるであろう。このように世相の悪化することは、われわれ国民にも一部その責任があると思う。

すみやかに、楽しい住みよい社会造りに、我らも断乎として立ち上がり、一致団結、協力に邁進すべきである。

東砺波郡城端町千福新八一四七 石橋庄之助

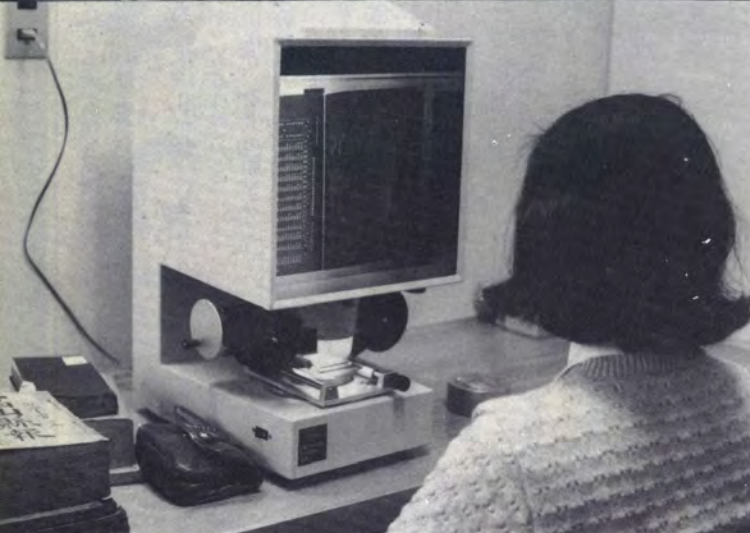




呉羽丘陵のふもと、県民の記憶を保持する機能を果して、蔵書20万冊を有する。

豊富な所蔵資料は、学術研究に欠かせないものの1つであり、貴重である。新しくレコード鑑賞室・マイクロフィルム視読施設などが完備され、同時に歴史の1ページをわがものにする。

館内事業のほかに、県下全域へ移動図書館車「ありそ」が巡回、家庭や地域へ整理された情報を提供している。また、市町村図書館にない本の貸出や援助などを行ない、いわゆる「図書館の図書館」としての役割も大きい。



- 1.生涯教育をめざして真剣に。
- 2.厚い書籍・歴史の1ページが縮尺されて、マイクロフィルムとして保管。
- 3.ぼう大な資料も、マイクロリーダーによって一読できる。
- 4.ざっしりつまった「ありそ号」の関らん用図書。



# 県民の記憶装置

—富山県立図書館



# レクリエーション ポイント



●法福寺の明日の大桜  
この桜は、地上約四メートルで四枝に分かれ、東西一五メートル、南北一三メートルにおよぶ枝張りが見ごたえである。県の天然記念物に指定されている。

●宇奈月温泉  
立山・白馬両山脈に囲まれ、黒部峡谷の玄関にあたる山菜水明の地。大正十五年、上流八キロの黒羅温泉から引湯。泉質は単純泉で、腺病・リュウマチ・皮膚病に効く。  
二月には、雪と火の芸術祭「雪のカーニバル（雪の芸術品・タイムマツ行列など）」がくりひろげられる。



●大原台スキー場  
緩急自在なスロープをもち、周囲には適した恰好の山々がひかえている。スキーリフト、休憩所などの施設があり、初心者・経験者の区別なく楽しめます。  
●愛本橋  
黒部峡谷の関門で、かつては黒部川に架した天下の奇橋として有名だった。「大蛇の伝説」で知られているこの橋は、寛文二年（一六六二）加賀松雲公前田綱紀によってつくられたもの。橋上に立ち、北方を望むと黒部の扇状地形や富山湾が遠望できる。

## 県政広報お知らせ

●テレビ：みんなの県政  
県政の広報事項を、対談やフィルム構成で放送します。  
北日本放送（七時四十五分～八時）

一月二日・九日・十六日

二十三日・三十一日

富山テレビ（十一時三十分～十二時）  
一月二十九日

●新聞：みんなの県政  
北日本・富山・読売・北陸中日新聞に、毎月一回県政の解説やお知らせなどを掲載しています。一月二十九日の予定です。

●広報誌：みんなの県政配布  
県民のみなさんとのパイプ役として、県政のうごきを中心とした雑誌です。市町村・病院・銀行の待合室・学校・農協などへお届けしていますので、お読みください。また、県庁、富山、高岡、砺波・魚津の各総合庁舎の県民相談窓口にも備えてありますから、ご自由にお持ち帰りください。

# 越中の伝説 ガメとムカデのはなし

大沢野町にある大久保発電所のすぐ近くに、ガメ宮とよばれる小さな祠（ほこら）があります。

むかし、大沢野に用水をつくる名人がおったそうだが、ある日のこと。

ひとりの山伏が、名人の顔をみて「あなたの命はあと残り少なくなっている。おそろく、このままでは二・三日中に死んでしまうだろう。いまのうちに、よくよく人のため、世のためにおつくしになったほうがよい」といきました。しかし、本人はとても元気で、病気ひとつしたくない男でした。

「馬鹿なことをいって困る。このおれが死ぬなんて。ワッハッハッ」と笑い飛ばして、気にもかけませんでした。

この日は、ちょうど用水の当番だったので、名人は息子をつれて舟をのりだしました。やがて、現在ガメ宮がたっている近くまで来た時、息子が足をふみすべらして、あつという間もなく水の中におちました。名人は「どうした。どうした」と、きりがいのように水の底をのぞきこみましたが、息子の姿がどうしても見当りません。名人は息子を救うために、とっさに身をひるがえして、流れにおどろこみしました。しかし、淵の底にうずまき水にとらえられたのか、二人ともふたたび水の上に姿を現わしませんでした。人々はガメのいわざであるとか、口に語り合ひ、ガメの石像をききんで、二度とこのように恐ろしいことがないようにおまつりました。

このガメ宮の淵は恐ろしいところで、ガメがすんでいた頃よりずーっと昔、大きなムカデのお化けがすんでいたということです。このムカデは十メートルもあるといわれていますが、神通村の川原覚浄という人が「そんな化物がいて、るか。おれは舟をこいでも、角力をとつても負けたことがない。

泳ぐことは得意だし、魚をとっては村一番の腕自慢だ。ひとつ、あの淵へ網を投げてみよう。本当に大ムカデがでてきたら、ひとつとらえて見物にするか、退治してみせるわ」といって、ゆうゆう舟をすすめ、網をおろしました。ところが、どうしたにか、ひっぱつても、ひっぱつても網がさがりません。しかし、こんなことぐらいで驚くような覚浄ではありません。

「やい。怪物。ひきょうものめ、姿をみせろ。網を返えしやがれ」と大声でどなりました。すると、この淵の東の崖下に天女のように美しい女が、コッゼンとあらわれて覚浄を見ながらニッコリと笑いかけてました。覚浄はなんとまあやさしい化物物もあるものかと感心して、思わず舟ばたをたいたいて

「いようー。ベッピン。日本一」と賞めそやしました。そのとたん、女の姿はかきけすようにふつと消えて、網はするすとあがり



（精神開発研究委員）成瀬昌示

ました。この「ガメ」と「ムカデ」の伝説は、同じ淵にまつわるお話ですが、「ガメの話」は大沢野の人々に語り伝えられており、「ムカデの話」は富山市の古老たちが知っており、また昔富山で発刊された「扇籠」という本にも書かれています。

こうしたことから江戸時代のはじめ、まだこのあたりが開拓されず、自然のままであった頃、恐ろしい淵を見た人々の口から「ムカデの話」がうまれ、やがて用水工事が行なわれて開拓がすすめられた頃、うずまき淵を見て「ガメの話」が新しくうまれたものと考えられます。そして、そこには当時このうずまきにまかれて命をおとした人が、少なくなかったという悲しい事実がふくまれているに違いないと思います。

ガメ宮は、今も美しい大沢野の町を背景にして、だまって立っているのですけれども…。



“こどもを交通事故から守ろう”



こども無事故で  
おねがいします